

研究計画概要

助成年度・種別	2020年度 一般研究助成
研究代表者	桐生 正幸
所 属	東洋大学社会学部社会心理学科
研究テーマ	未就学児に対する妖怪を用いた防犯教育絵本の作成－SNS が関わる犯罪予防を中心に－
研究計画概要	<p>本研究では、SNSなどからの悪しき誘惑を安易に信じてしまう児童に対して、不要な恐怖感を植え付けず適度な警戒心を学んでもらうための教材、「妖怪」を用いた防犯教育絵本の作成を目指すものである。絵本の対象は、スマートフォンなどの使用が未経験である時期の4,5歳の未就学児とする。</p> <p>まず、4月、5月に先行研究及び関連する実際の事件データの分析を行う。また、妖怪のイメージ図をいくつか作成し、6月、7月に大阪府門真市の保育園に出向き、未就学児、教員などへ聞き取り調査を、加えて Web 調査による母親への質問紙調査を実施する。そこまでの成果を関連する心理学系の学会大会にて報告し、学会員からの意見などを参照し、絵本作成の作業を開始する。12月から3月にかけて、妖怪防犯絵本の試作版を用いて修正などを繰り返し、4月に絵本を完成させる。以後6月頃まで、作成した絵本 300部を全国のこども園や保育園に送付し、1ヵ月ごとの継続的な絵本使用効果の測定(質問紙調査)を行い、完成した絵本の実用性を検討する。なお、作成する妖怪の絵は、共同研究者が作成するオリジナルの物とする。</p>
選考委員からのコメント	<p>SNS を妖怪に見立て、善悪の両面を持つ妖怪を用いた絵本教材を通して、SNS が持つ危険な側面を学ばせるという着想は、とてもユニークである。未就学児にとって妖怪を用いた絵本がなぜ有効かを実証するだけでなく、この絵本をどのように普及させるかという社会実装についても助成期間に検討してほしい。</p>